



\*\*\*\*\*

一部50円です

\*\*\*\*\*

## ボートピープルだった少年



ベトナム戦争の終戦間際、南ベトナムが北ベトナム軍によって陥落する際に多くの南ベトナム市民が小さな木造船に寿し詰めに乗船して東シナ海へ乗り出した。海流任せ運任せで命がけの亡命であった。その人々をボートピープルと呼び、多くの人が船の難破で海に消えた。運よく日本に辿り着いても、移住許可は下りなかった。それでも必死の密出国に多くの人が賭けたのだ。北ベトナムの共産主義を恐れ亡命に必死になった事がウソのように、今のベトナムは敵国であったアメリカとも親しく国交を開き、成長著しい。

二十年あまり前に、西ドイツで出合った少年はボートピープルであった。彼がアルバイトしていた店での会話から仲良くなり、下宿まで行って話をした。彼の下宿は白い壁が目立つ8畳ほどの部屋に自転車がとテーブルが置かれていた。彼は幼い時にサイゴンの港から夜の闇に紛れてボートに乗った。その舟は運よく香港に漂着した。彼は希望の移住先が分からず、当時難民を受け入れに熱心だった西ドイツに渡ってきた。彼はアルバイトをしながら勉強して大学の医学部に在籍していた。私が「将来、医者になるんだろう。収入も安定していいじゃないか？」と言えば、彼は「奨学金が欲しから医学部へ入学しただけで医者になるつもりはない。大学を卒業したらアメリカのビザを取り、アメリカへ渡って中華レストランを始め、チェーン展開をしてベトナムにいる親戚の多くを呼び寄せて皆で暮らしたい。医者ではみんなを養えないから」彼は医学書を見ながら落ち着いて言った。

サイゴン陥落のテレビの映像が私の脳裏に浮かんだ。多くの難民を乗せた舟が東シナ海に漕ぎ出し漂着しただけでも幸運といえる。その上ドイツの医学生になった。彼の言葉を私は驚愕して聞いた。なんと人間だ。私の想像すら出来ない事を彼は考えていた。その時にベトナムは凄惨な国だなあ！彼だけが特殊な人ではないだろう。ベトナムには彼のような親戚思いの子供達が多いにちがいない。ベトナムは近い将来、発展するだろうと思った。

ベトナムはその昔、漢字を使っていたという。フランスが植民地にした為に漢字からベトナム語を使うようになったという。儒教の影響もあり日本人と似た価値観がある。ベトナムに渡航したことはないが、彼に会った事でベトナムに対する親密感は今も消えない。

歳をとらないと分からないことは多い。親爺や祖父がぼやいていた気持ち少しづつ「こういう事だったのか」と自分ひとり納得する事が増えた。誰に言うこともなく独り合点なのだが、妙に男の行く末の袋小路が見えてくるのだ。

時々、嬉々として定年後を旅行だゴルフだと忙しそうにしている人を見ると、一層あわれに思える。自分の置かれている現実を直視することをわざと避けてもがいているように見えるからだ。やはり、還暦を過ぎれば人生の何たるかを喋る前に静かな沈黙と穏やかな笑顔がほしい。黙して語らず、甲斐性無しと家族にも馬鹿にされようと言いつつやがて度量がある。この辛抱があるか無いか男の値打を決める。この領域には学歴や職歴は関係ない。決めるのは全てを捨て物事に執着しない諦めだ。

祖父が言い続け、私が馬鹿にし続けた「死にたい」というつぶやきが新鮮に蘇る。親爺が母に遠慮がちに「かなんかのや」と聞こえないように呟いて気持ちだが、自分にも同じように沸き起こってくる。心を抑えようと悩む時に、今は亡き亡父や祖父の姿が過ぎり、同じ男の道を歩んでいるのだ。時代が過ぎて男の末路は厳しい。

## 風神の聖岳 4

梵店主

プレハブ小屋の入口と思えるガラス戸を叩きながら、「やっばり誰もいないなあ」と諦めかけた時、小屋の中で動く音がしてカーテンが開いて男の人が現れた。戸が開けられるなり、よっちゃん「すいません。朝早くから騒ぎ立てまして、山で事故を起こして京都に連絡しなければなりません。電話があれば貸していただけないでしょうか？」

夜通し尾根を駆け下って来たためか興奮して言った。飯場の男は「ああいよ、入って使いな」と言ってくれた。よっちゃんは、電話を見つめるなり受話器を取ってダイヤルを回した。

監督への呼び出し音が幾度か鳴ってやっとなんと奥さんが出てくれた。すぐに監督に代わってもらい状況を話した。監督は「自力で下山できるのであれば、救助隊を出すこともない。様子を見ながら下山して病院で検査を受けるように」という指示を受けた。よっちゃんは、監督から落ち着いた調子で指示を得た為か、予想していた叱責がなかった為か、あるいは疲労のためかよろけそうになった。「電話ありがとうござい

ました。失礼ですがこの小屋の住所と名前・電話番号を教えてください。事故報告に書かなければいけませんから」と言ってメモした。

(遭難事故の事後処理では、必ず世話になった人や団体には出向いてお礼をするのが部の決りであった。ザイルを借りたT大へも新品のザイルと菓子をもらって由べえが、本郷の部室を訪ねて礼を言った。飯場の小屋へもお礼の品物を送った。)

よっちゃんは礼を言って外に出た。白々と夜が明けてくる谷間には雪が所々残っている程度で夏道を歩くのには問題がない。車が通る道まで山猿の怪我した状態では10時間はかかるだろう。いやもつとかかるかも知れないが、ここまで来たらもう大丈夫だとよっちゃんは思った。

空荷のせい如山猿は良く歩き、夕方には飯田線の駅に着いた。山間の小さな駅で病院らしきものはなかった。山猿の様子も意外と元気でこのまま長野市にある実家に帰り病院に行くと言った。電車を乗り継げば二時間余りで着くので通院の事を考えてもいいだろうと思ったが、問題は誰かが付いて行かなければいけないことだ。よっちゃんが付いて行く事になった。京都に帰る部員達を見送ってから、よっちゃんと山猿は塩尻行きの特急に乗った。

車内には乗客が少なく薄暗い車内が夕闇に包まれた車窓に映し出されていく。向かい合わせに坐った山猿の血がついた顔や腕を見て、よっちゃん山猿の親爺さんが何んと言うか心配だった。

叱責は仕方がないにしても、話をしてもらえるか？ 追い出されるのではないかと心配で疲れた身体を忘れて窓の外の暗闇を眺め続けた。実は、親爺さんに会うのは初めてではない二度目なのである。山猿が山岳部に入ったと知るなり仕送りを止めてしまった頑固な人なのである。何とか仕送りをしてくれるように頼みに行つたが納得はしてくれなくて仕送りはとまったままであったが、山岳部は黙認してくれた。その時に、よっちゃんは啖呵を切ってきたのだ。「どんな事があっても事故は起こしませんから、山を続けさせて欲しい」と親爺さんに言ってから一年も経ってはいないのだ。

そこまで学生の立場で親に物言うのは奥がましいのだが、当時の山岳部は学生運動よりも危険と親達から嫌われていたのである。新人の学生を飲み食いさせて何とか入部させても、親が知れば物凄く反対が始まり、大半が辞めていく。親に知らせずやっ

ら親に知れる。親が賛成することは絶対にない。諦めて黙認してくれればいいのだ。山猿の同期も多くが部を去り、部内の事情としても辞めさすわけにはいかなかったのが本当のところだ。それでわざわざ出かけて行って頼んだ。そんな事をやったらよっちゃん、親爺さんにどう言ったらいいのか。「すいません、事故を起こしてしまいました申し訳ありません」ぐらいでは許してもらえそうにない。では、どういえばいいのだろうか？ 塩尻駅から乗換えで長野へ向かう、長野には九時前に着いた。すぐにタクシで実家に向かった。





上原むつえ

私が二十七歳で出家した横須賀の日蓮宗・報恩郭での生活は、早朝三時に起床して水をかぶる事から始まります。

四時過ぎから本堂に入りお経を唱え、七時から麦飯、漬物、味噌汁の食事をします。八時頃から先輩の尼僧である妙優さんと托鉢に出かけます。彼女は二十六歳と年下でしたが、出家が私より早かったのです。

毎日の托鉢は雨降りの日以外は朝から晩まで行います。これは修行ですから基本的には何処へでも行きます。

姉弟子の妙優さんは、横須賀の道をよく知っていて毎日歩くコースを決めて連れて歩いてくれました。歩く道すがら信者さんから呼び止められては家に呼ばれてお経を唱え、お布施を頂戴することも度々ありました。檀家さんが多かった事もあります。昼飯時には決まって檀家の方が食事の用意をして待っていてくださり、ご馳走になりました。

横須賀は海に近い事もあり檀家さんで頂く食事には、決まって大きな切れ目の刺身が出ます。美味しくても楽しんでみでした。横須賀の町は狭い急な坂が多く歩くのが大変です。

一日中タイコをたたいて托鉢して歩きますと、十円や五十円硬貨のお布施が一杯たまりまます。背負っているリックに移したほどでした。二人分を合わせるに三万円にもなる日があります。

途中で信者さんたちと会話などをするながらの托鉢ですから、寺に帰るのは夜の九時頃になります。帰ってお布施を本堂にお供えし、お経を唱えます。

食事を済ませて風呂屋に行き十一時過ぎに十畳間で五人で寝ます。一ヶ月に三百円の小遣いを頂きました。装束の着物などを買うと足りませんでした。

一日着て汗まみれになった着物を脱ぎ水に浸けて置くと隣の夫婦が洗ってくれて助かりました。その上、毎日風呂代も払ってくれました。周りの人のお陰で修行をつづけられました。

当時、横須賀駅の周辺には手相見や人相見が多かったです。私の人相を見て「あなたは学者になる人相だ」といわれたことがあります。

可哀相だったのは米軍相手のパンパングールです。女だけでなく女装している男の人がいました。托鉢していると助けを求めてきます。下半身一面に腫瘍ができて痛くて苦しんでいるのです。医者である私に助けを求めてくるのですが、薬といっても敗戦直後ですからアスピリンとブドウ糖ぐらいしかありません。彼女たちを救う薬は60

6号である事は知っていましたが、身近にありませんでした。

ある日、托鉢しているとジープに乗った黒人の米兵が声をかけてきました。彼は私達の托鉢の白装束に興味を持ったのか非常に丁寧な敬意ある態度で「寺まで送ってあげようか。チョコレートあげようか」と分かりにくい英語で言いますので、私は「606号という薬が欲しい」と頼みました。米兵は考えてから「すぐには難しい、少し待って」と答えました。私は強い口調で「606号の薬があるだけ欲しい。一杯欲しい」と言いました。

それから二ヶ月ほど過ぎた時に、606号の薬が入ったダンボール箱を幾つも積んだ米軍のジープを運転して黒人の米兵は来ました。彼は約束を忘れてはいなかった。一度には積み切れません。何度も運んできてくれました。その箱の中には消毒液や注射器などが606号の薬と一緒に入っていました。

届いた次の日から托鉢に出かける時、薬など治療器具を背負って出かけました。托鉢の途中で困っている女の人の見かけると治療しました。ロコミで多くの人が寄ってきます。実に多くの人を診ました。托鉢しながら道端で病気のの人に頼まれれば治療する生活を八ヶ月間ほど続け二百人程診た時に事件が起きました。

いつものように托鉢していると治療

を希望する人たちが押し寄せてきました。その中に恐ろしい術を使う人がいました。姉弟子の妙優の膝関節を壊して歩けなくしてしまう術を目の前で使ったのです。今では信じられないですが当時はいたのです。妙優はその事が原因で病死しました。それで、私も怖くなって治療をやめました。

浅草の観音さんを歩いていた時の事です。地面に多く転がっている観音さんの掛け軸を拾った人々が、托鉢姿の私に問いかけてきました。

「どうして掛け軸が捨ててあるのか？ 拾ってもいいのか？ どのように祀ったらいいのか？」タイコを打って托鉢している私に周りに多くの人が聞いてきたのでした。私は答える事が出来ませんでした。

その時に「もつと勉強しなければいけない。寺を出て本格的に宗教の勉強をしよう。このまま寺に居てはダメだ。住職に話しても許してもらえないだろう。寺を出よう」と決意します。寺からの家出です。こおりの鞆一つを持って夜、誰にも言わずに寺を抜け出しました。



お釈迦さまのインド

趣味を楽しむということは、人生を豊かにしてくれます。生き甲斐が生まれ、人に生まれたことに感謝の念がわいてきます。私は、法務の合同を見つけては、さまざまに興味に夢中になったものです。前号では手芸や絵画、書盆石などを紹介しました。もう一つ、私には旅という趣味があります。

子どもの頃から外へ出かけるのが大好きでした。戦後だいが経ってからですが、海外にも足をのびして、異国の地を歩いてみたいという思いが募るようになり、そんな私の旅行好きを気づいてくれたのは実家の母でした。

主人が亡くなり、子どもたちも成人してあまり手がかからないようになってきました。母が「あなたは思いもかけずご主人を早く亡くし、子どもにも手がかからなくなって自由な時間があるのだから、元氣なうちに海外旅行に出かけるといいわ。今日、家があるのはあなたのお陰」といって、まとまったお金を手渡してくれたのです。

母は、東京大空襲のとき二人で必死に消火活動をして、家が焼けずにすんだことを思い出していたのです。私が要らないと拒んだのですが、けっきょく私は折れて、母の好意に甘えることに

しました。

訪問地の第一候補はインドでした。主人が亡くなった後、主人の骨を、お釈迦さまの生地インドに埋めに行きたいと思いつづけていたのです。

あるとき、インド旅行を計画している宗門の方々がいるという話を聞き、リーダーの方にお目にかかって相談したところ、もうすぐ出発するというのです。さっそくそのグループに加えていただくことにしました。インドはいへん不衛生だから食べ物には充分注意を払うように言われました。

歳を重ねて衰えれば、ますます出かけにくくなるであろう、これがチャンスだ、と頑張って姑に相談すると、快くお許しをいただきました。法務は代わりをしていただける方をお願いして、大急ぎで旅行の準備をします。

まず主人のお骨を準備せねばなりません。誰にもいわず、本堂の仏前で私が一番好きな経文を唱え、一心に念じた後、南無阿弥陀仏の名号を称えながら分骨をいたしました。

出発は予定通り。リーダーは別院の輪番さんです。インドでは手洗いをまめにし、喉が渴いたからとむやみに水分取らない。腹痛を起こさないためにいくつかの心得を肝に銘じて、二週間の旅を続けなければなりません。

家を二週間留守にするのは勇気のい

ることでした。家のことが気にかかりましたが、全般を把握している姑は気持ちよく送り出してくれました。

出発当日、集合場所の伊丹空港の発ロビーに行くと、皆さん既に集まっておられます。同行の方々を紹介していただきました。自分より年長の方が多かった。初めての海外旅行ですので、かなり緊張していました。

総勢十六人、お念仏を称えるご同朋は北は北海道、南は九州まで、全国におよびます。その中に九州の私の友人のご主人と坊ちゃんに参加されていたことを知ったときはたいへん驚きました。

機内では、母の教え通りベルトを締めて身体をリラックスさせ、できる限り眠りました。

フライトは八時間、ぐっすり寝込んだ私は朝食の時間まで気がつきませんでした。疲れがとれてたいへんよい休養になりました。

初めて訪れる異国の地インドです。興奮しないはずがありません。カルカッタ（コルカタ）に到着した時は、胸がわくわくです。カルカッタの土を踏んだとき、朝の清々しい空気を胸一杯に吸い込みました。何んとも言えない精新な気持ちになって、バスに向かいました。

空港からホテルに向かう途中、道端

に横たわる人々がたくさんいます。ガイドさんに尋ねると「家のない家族が、わずかな生活用品とともに路上で寝ているのです」という。インドはカースト社会で、底辺に生きる人々は極貧にあえいでいるという話は聞いていたが、現実を目の当たりにして、やはり衝撃でした。

カルカッタでは市内観光やインド舞踏を楽しみ、夜一〇時過ぎの夜行一等寝台車でガヤに向かいます。翌朝ガヤに到着した私たちは、バスに乗り換えブッタガヤを訪れました。私は、第一の目的である主人の分骨を、このお釈迦さまゆかりの地に埋めました。

釈尊は二千五百年前、ヒマラヤ山麓のルンビニにて出生し、シッタールダ王子として成長。生後七日目にて生母マヤー様と死別。四門出遊すなわち生老病死の苦の根源である煩惱を、激しい修行のすえ断ち切って、ブッタガヤにいまも残る菩提樹のもとで大悟し、仏陀となられた。このお釈迦様の成道は十二月八日の暁であったと伝えられています。お釈迦さまの説いた三法印は、諸行無常、諸法無我、涅槃寂靜と



苦行するブッダ



いう原理です。仏教の教えの根本となつています。

お釈迦さまの歩いた跡をたどるよ  
うに、①生誕の地ネパールのルンピニ  
から②成道の地ブツダガヤ、③初転法  
転の鹿野苑、④説法をした祇園精舎、  
⑤入滅の地クシナガラへと巡回して、  
帰国の途に着きました。

主人のお骨を納めをさせていただ  
いたインドの土を、名号を称えながら  
お寺の四角の角にバラバラとまいて、  
「お釈迦さまとご一緒ね。ありがたい  
こと」と、深く感謝しました。

### 「別腹」の許容カロリーは？

藤井寺 笑美

いよいよ食欲の秋ですね。涼しくな  
つてくると、食欲も回復し食べ物が美  
味しくなつてきます。新聞のチラシを  
見ていると、なし狩りやぶどう狩りの  
果物の食べ放題！と銘打った旅の案  
内があったり、ホテルでランチにスイ  
ーツ食べ放題などという企画があつ  
たりします。果物や甘いものが好きな  
人には、手ごろな価格で美味しいもの  
を食べられる案内に心がかかされて  
しまいます。

実は私も先日、久しぶりに友人と人  
気があるホテルの食べ放題に行つて  
きました。肉や魚のメインのコーナ

やサラダのコーナー、そしてケーキや  
アイスなどスイーツのコーナーなど、  
いろいろな料理が並べられ、どれも美  
味しそうです。どの料理も捨てがたい  
ものばかりです。時間もたっぷり二時  
間あります。どりあえず、スープにパ  
ン、メインの肉と魚にすすみました。  
野菜もたっぷり食べました。しかしや  
っぱりスイーツを食べないわけにはい  
きません。十分おなかはいっぱいで  
が、これは別腹よ！ と言いつつなが  
ら一通り味見しておかないといけな  
いような気がして口に運びました。あと  
で絶対に後悔することはわかっていま  
したが：

食事をした後のスイーツは別腹とば  
かりに欲望のまま口に運べば、たちま  
ち体にはねかえつてきます。当然体重  
も二〜三キロはあつという間に増える  
ことになりす。また、体内では血液  
中の脂肪が多くなり脂質代謝異常など  
という病名がつけられてしまうことに  
なります。中でも砂糖と油が一緒にな  
つたスイーツは、脳や体が欲する味で  
やめられなくなつてしまうので特に危  
険です。そのようなことがおきるとわ  
かかっていてもやめられないのが甘くて  
美味しいものです。

この別腹ですが、いったいどのくら  
いまでにとどめておけばよいのでしょ  
うか？ エネルギーで考えれば、せい

ぜい二百キロカロリー程度にとどめる  
のが望ましいといわれます。これ以上  
になると、食事のバランスが崩れやす  
くなるからです。しかしどうでしょ  
う？ その値の範囲内に収まるスイー  
ツを探すのがけっこう大変です。

最近のものはケーキやシュークリー  
ムなど小さくてもクリーミーで濃厚で  
すし、大福やおまんじゅうもずつしり  
重く一個で三百キロカロリーを超えて  
しまうくらいです。家で少量を食べる  
のなら問題はないのですが、外で食べ  
る時が問題です。

しかし、せっかく外での楽しみに別  
腹は二百キロカロリーまでだからと考  
えて食べるのも美味しさが半減してし  
まいますね。美味しいスイーツなどを  
食べる予定がある時は、前後何日間  
別腹を避け、特に食事に気を配るよう  
にするといいでしよう。

過ぎたるは猶及ばざるが如し。秋は  
実りのシーズンでもあり、観光のシー  
ズンでもありますね。健康であつてこ  
そ食事も旅も楽しめます。甘いものを  
食べ過ぎて健康を損なつては、紅葉も  
見にいけません。温泉に入つてやすら  
ぐこともできません。楽しみながら人  
生を過ごすには、「食」についてもやつ  
ぱりバランスが必要だと思えます。い  
ずれにしても、甘さの虜にならないよ  
うにしたいものです。

### 「植物に学ぶ」

職場で観葉植物を育て出して六、七  
年になる。ベランダにプランターが八  
つ、室内に鉢植えが三つある。その世  
話をひとりですべてしている。手間はかかる。  
しかし、学ぶことは多い。

まず、当たり前のことだが、生きて  
いること改めて知る。水遣りをしないと  
枯れてしまう。だから、盆や正月の  
様に長く会社を休む場合には、わざわざ  
水遣りやりの為に出社する。また、  
長期出張の場合は、部下に水遣りを頼  
む。そのために一杯、吞ます時もある。

こんなこともあつた。水を遣つてい  
るのにヘデラの葉に勢いが無い。な  
ぜ？ と考えた。よく見るとアブラム  
シがびつしりと付いていた。殺虫剤を  
掛けてやると、葉は元を取り戻した。

また、パキラの葉の先の方が枯れる  
ようになった。なぜ？ と考えた。よ  
く見ると、土の表面が白っぽかった。  
水道水のカルキが溜まつたのだ。そこ  
で、表面のカルキを取り除き、土を鉢  
から出して、三日間ほど天日干しにし  
た。

土は日光を吸収し、ふっくらとした。  
その土に買って来た腐葉土を混ぜて鉢  
に戻して遣ると、パキラの葉先は枯れ

なくなつた。

さらに、鉢植えの受け皿から水が溢れて床がびしょ濡れになつたことがあつた。そこで、鉢と受け皿の間に新聞紙を帯状に畳んで挟んだ。

水が溢れた理由はテレビで言つていたことを鵜呑みにしたためだ。

「鉢植えの水遣りは根の先まで行き渡るように、たっぷり遣つた方が良い」それまでは、根腐れをしてはいけないと思つて、全体に土が湿る程度しか遣らなかつた。

植物を育てるには、愛情と根気が要る。人間も同じなのだろう。他人にもそうありたい。至らぬ自分を反省せずにはいられない。

「君は隣人を愛しているか」  
そう植物が問うて来る。(龍)



あなたの心のつばやきをお寄せください

### サラリーマン・エッセイ

#### 総選挙の結果

明石幸次郎

先進自由主義国の中で、与野党の政権交代がなく、戦後からほぼ政権を一党が独占してきたのは日本くらいだと言われていましたが、今回の総選挙で野党民主党が圧勝して、ようやく政権交代を実現させました。

自民党は選挙中の各種世論調査で苦戦が報じられたこともあり、不利な情勢を挽回すべく、なりふり構わずの民主党に対する攻撃で、政権担当能力、責任力がないと言つたネガティブキャンペーンを展開しました。しかし、一年しか持たない総理大臣を立て続けに二人も選んだ政党が他党の政権担当能力をあげつらい、更には、小泉構造改革の総括もなしに自分達は国民の負託を受けて国民の為の政治をずうと行

い、今回の未曾有の経済不況の中でも適切な景気浮上策を採り、景気浮上の道筋はつけて国民への責任を果たして来た、もし民主党が政権を取るようなことがあれば、この日本がえらいことになる、麻生さんが声高に口を尖がらせて言えば言う程、国民は冷静になつて、この人をトップに据えた自民党の無責任体質と政権担当能力に改めて

不信感を深めてしまつたのではないでしょう。選挙結果において自民党は、国民から政権の座から引きずり下ろされ、このネガティブキャンペーンが有権者には逆効果に働いたことが証明されました。

自民党が選挙戦で重要視して、自党にはあるが民主党に無いと訴えた政権担当能力とは、与党経験の長さだけを意味するものではありません。政党が政府の政治権力を使って、どのような社会を実現したいのかという理念をどう共有しているか、政治家が重要な局面で結束して、その実現の為に必死で努力出来るかどうかが政権担当能力を測る試金石だと思います。

民主党は寄り合い所帯との批判を受ける中、鳩山さんは、その政治理念として「国民一人ひとりが自分の居場所を見出して、自分が社会の役に立つて」という実感出来るような社会をめざし、人の幸せを自分の幸せと感ぜられる友愛社会を作りたい」としています。そして、「今の日本に欠けているのは、人の絆で、自民党の構造改革に依つてこの絆がズタズタになり、アメリカ流の新自由主義、市場原理主義によって日本経済の構造が変化して、非正規社員が増大と国民の間に大きな経済格差をもたらしてしまい、これを改めなければならぬ」と言っています。理念

の方向性としては、社会保障、福祉を重視する社会民主主義、友愛や共生を重視する人格主義的な自由主義、更には地域主義的な保守主義の緩やかな連携を目指すとしていきます。これらの実現の為に、既存の霞ヶ関を中心とした縦割り行政にメスを入れて、資源の配分を官僚主導から民主党主導で変え、予算の無駄遣いの排除を強調しています。

既に鳩山新政権発足の前から、小沢新幹事長との権力の二重構造に対する懸念、更にはアメリカからの鳩山外交、経済政策への懸念感などがマスコミに取りざたされていますが、準備期間と過去の経験もほとんど無いまま政権を担当するのでありますから、内政、外交の政権運営における試行錯誤は避けられないのではないのでしょうか。鳩山首相の君子豹変も在り得ますし、財政難の中のマニフェストの修正、政策の妥協、後退も起るでしょう。その時にどのような、鳩山政権が国民に対し説明責任をしっかりと行うか否かによって、今までの自民党政権との政治的体質の違いが分かるのではないのでしょうか。

今後、民主党に対しては、期待しながらも多少の授業料を払う覚悟と共に政権に対し厳しい目を持ちながら、同時に自民党との二大政党政治と国民参加型民主主義を育てて行くような、生みの苦しみの政治的訓練と試練を経験しなげ



ればなりません。民主党と自民党が国民生活をよりよくする為に競争原理を働かせ切磋琢磨すれば、もし与党政権に重大な失政があれば、すぐに政権交代によって政策に手直しされるような、より良い議会政治を生むことに繋がるからです。

### 俳句

養女

- 抜け道や完熟枇杷をふみつけて
- 夕立もゲリラ雨なるや雨戸締め
- 胸少し開いて扇子の風送る
- 夏萩や風ゆるやかに受けとめて
- 雷鳴や窓しめしつかり耳ふさぐ



### 農について

リンゴの実がこぶし大に成長した。フジの収穫は十一月下旬から十二月にかけて行われる。リンゴを育てる農家は、実をつける春から収穫まで、殺虫や雑草刈り、芽摘み、袋かけなど、いろいろな手間をかけなければならぬ。

いまはカラスの襲撃に頭を悩ます。リンゴ畑全体には薄い網をおおいかぶせ、人に見立てた人形を木のなかに立てかけ、木のてっぺんに黒いビニールをそよがせている。いずれもカラスよけだが、したたかなヤツらは網の隙間から侵入し、リンゴをついばむ。

近くの電線に二十羽あまりとまっている。二、三羽がリンゴ畑に侵入し、その様子をしばらく見ている。これはいけると判断すると、こんどは二羽ほどのカラスを電線に残し、一気に集団でリンゴ畑を襲う。今年にはカラスの数が多い。ときおり爆竹を鳴らして追い払う。それでもカラスはあきらめない。リンゴの収穫は年に一度きりである。雪に覆われる冬のぞいて、リンゴの手入れにおわれる。カラスよりも怖いのは雹だ。ほんの数分たっただけで、春からの苦労はアワと消える。三年前に善光寺平の桃畑が雹にやられ、大きな被害が出たことがあった。

ここ数年、リンゴの木が根元から伐られ、リンゴづくりをやめた畑があちらこちらに見られるようになった。後継者がいないのだ。いまは高齢の夫婦が営んでいるリンゴ畑がほとんどである。

「農は国の本」といわれるが、この国ではそういう意識は薄い。国土の六十パーセントは森林に覆われている。Googleの航空写真を見るまでもなく日本は山がちの国なのだ。農を営める土地はかぎられる。その割りあてられた耕作地の四十パーセントは中山間地にある。つまり日本という特有の国土で営まれる農は、家族経営の小規模農業が基本なのだ。機械化していかぬに効率をあげても、アメリカのような大規模農業におよぶべくもない。当然、国際市場の自由競争のなかで、アメリカや中国の農産物に日本はたちうちできないだろう。

農を考えることは、食だけではなく環境問題、文明論にもつながっていく。テレビなどで、見渡すかぎり穀物畑が広がるアメリカの農地の映像なんかを見ると、異様な風景に見える。広大な土地に単一栽培農法は効率がいいに決まっているが、アメリカの農法は大地を蹂躪しているように見えてしまうのだ。大地の声に耳をすまし、自然と対話するように営む日本の農業とはまる

で異なる。三千年の昔からえいえいとつづいていいる農業と、経済効率を最優先し輸出産業とする農業とは、同じ農業といっても、次元が違う。

自民党の農業政策は、4ヘクタール以上の農家を育成し20ヘクタール以上の集落営農を支援するという政策に見られるように、農業のアメリカ化である。つまり、農業を大規模化し、国際市場で競争できるような産業に育てようという政策だった。

四年前の郵政選挙で三分の二の議席を獲得した自公政権は、強行採決、衆院再可決をくり返してきたが、この政権が最後の国会においてゴリ押し可決した重要法案は三つだ。憲法違反の海外派兵に道を開くなど問題の多い海賊対処法、それから脳死はどういうものか理解できないバカ議員と理解しようとしてもしない脳天気議員たちによって可決された臓器移植法改正案、もう一つはマスメディアもほとんど注目しなかった農地法の改正だ。

憲法改正を党是とする自民党は、現行憲法を「占領軍の押しつけ憲法」と強調する。では、なぜ同じ口調で、現行の農地法を、占領軍によって押しつけられた土地所有制度だだと主張しないのだろうか、と思うのだが、それは措いて、六月に可決された改正農地法はどういうものか。(つづく) (猿)

供養

いま 死んだ どこへも行かぬ こ  
こにおる  
たづねはするな ものは言わぬぞ

皆さんもよくご存じの、とんちで有名な一休さんの歌です。死んで亡くなった者に何がわかるか、とよく言いますが、亡くなったのではなく、形が変わっただけなのだ、自分の心にいよいよかかっています。言葉で通じあえなくても、想いは必ず通じるものです。

お盆がくると不思議に先立たれた人を偲ばずにはおられません。肉親の者の新盆を迎える家庭では、急に亡き人達が我が身辺によりそって来てくれる想いがします。それは生きている者がなつかしく思うだけでなく、むしろ亡き人々が私達を案じていてくれるからではないでしょうか。生きている者からの想いと、亡き人からの願いとの出会いがお盆だと思ふのです。美しい花を仏様に供えます。頂いた美味しいお菓子、飲み物など一度お供えをして、おさがりを頂きます。

自分の喜びや楽しみを先ずお供えする。想えば私達の生活は、家族肉親だけでなく、いろいろなお陰を受

けていると思います。ミカン箱で、たとえ木の箱であつても、阿弥陀如来様の光が違つて見えてくるのも真実の心であつて、見るもの聞くものすべて何かの力添えを受けてないものはありえないし、暗闇の中で見えるお姿は、声ならぬ声と心の語らひであり、呼びかけだと思つて「坊主の言うただの箱」というコトバは、それは靈魂が有る無しの問題でなく、自分が今ここに、こうして生きていた自分が、実は生かされていることに気づくチャンスになりました。亡き人々の善意と願いが、自分の中に生かされているのだと、思うように努力してきます。

減反は、水田すべて使つてコメを作れば、生産量が消費量を大幅に上回つて価格が下るためという。

青田で元氣よく育っている水稻を見て思わず「パンザイ」と叫びたくなる。

いろんな苦勞もある。どんなに暑くても、渴水しても、只下を向いて、せつせと仕事に打ち込んでいる人を見ると、思わず「頑張つてね。ご苦勞さん。この田圃を守ってください

ね」と心から願つている。

減反政策に応じる交付金などに目をくれないで、法的な罰則がないために参加しない農家もあると聞く、当然だと思ふ。自分も若い時に、「こんなしんどい農業なんか」と何度かも思った。でも、現在コメは作つてはいなくても田圃を手放せない心境である。

あまり実らない野菜を作つては顔色を見ている。トマトそのままガブリ、ああ美味しい。ああ昔の味だ。虫は喰つているけれど。

もつとまじめに

「永田町もぬけの殻になつて夏」落ちて恥かくより先に降りる知恵」新聞の時事川柳を読んで、本当にそうだなアとうなづく朝のひと時。

我が庭も、一寸気をゆるすと一面の雑草に追いまくられる。覆面強盗

のようなスタイル、虫除けネットをすっぽり身に付けて頑張っていたら、声をかけられても分からない。

「まあ、ハイカラなファッションねえ」と言われてビックリ。「汗と蚊に悩まされてまんねん」「今度の選挙たのんまつせ」タラタラと口上述べて、サツサと退場。

バラ色のいい加減なものを出して立派だとはいえない。もつとしつかりと中味をつめてほしい。「造花のバラか」「本物のバラ」のどちらがいいか、分かる時を待とう。

編集後記

意外と静かな投票日。夜の開票もいつもと変わらないテレビ報道。歴史的な政権交代のドラマが起つていようには思えない。

野党の圧勝を生かせるか悔いを残すことになるのか。全てはこれからの国民の心掛け次第か。

芥川商店街催し

☆☆☆  
10月5(月)6(火)7(水)  
「秋にベストを。。。」  
残り布でパッチワークベスト  
綿入りベスト  
お洒落なデザインの本  
ご主人にベスト  
秋はベストがあると重宝ですよ  
着物から服を仕立てます  
薙~ぼん~  
☆☆☆☆☆